

広報

県遊協

山形県遊技業組合
TEL 023-615-6922
FAX 023-615-6923
Eメール yamagata@zennichiyure.n.or.jp

県遊協 今年最後の理事会を開催

H 26・11・25午後1時 県遊協会議室

県遊協は、平成26年最後の県遊協理事会を開催しました。代理出席を含め理事全員が参加して次の議案を審議しました。

①のめり込み問題への対応について

全国理事会でも審議されており、県遊協としても全日遊連の決議を承認し、同日付で通達を发出することとなりました。ご協力お願いします。

②正月用品の店頭表示の廃止について

この件については別記事を御覧下さい
③年末年始に伴う防犯対策について
全従業員で通達の中身を勉強して下さい。

④第7回山形パチンコ・パチスロカーニバルの開催について。来年度も開催と決定しました。

⑤次会理事会・税務セミナー・新年会の開催について。27年2月3日開催と決定しました。

⑥平成27年度通常総会の開催日程について
平成27年6月18日、ホテルメトロポリタン山形で開催と決定しました。

◎正月用品の店頭表示の廃止について

先の県遊協理事会で的一幕・専務理事より「正月用品の店頭表示の廃止について」の説明があった後、大津事務局長から、何人かの店長さんから「何で店頭表示が出来ないのか」との質問を受けたことだったのでそれにお答えします。

そもそも門松・しめ飾り・熊手・だるま等の正月用品は、暴力団組織の生業として飲食店などの風俗営業店の殆どに高額で売り付け、組織の資金源にっていました。それが平成4年に暴力団対策法が施行され、当組合も法律の施行に合わせ平成5年に遊技業暴力団対策協議会を設立して暴力団との縁を切ろうと立ち上がりしました。当時は、

買って当たり前前の時代だったので。県遊暴追協議会としては何とか買わないようにと指導したのですが、なかなか正されないうままだったため、「組合員ホール全てが正月用品を飾らない」と決議して全店が実行し、20年近くに渡って継続してきた結果、今日の状況を勝ち取ったのです。暴力団は現在でも人目を忍んで正月用品を販売しているの聞いております。彼らは「隙あらば」といつも狙っておりますので、付け込まれないことが大切です。十分注意して下さい。

◎全国理事会の開催結果から

11月19日(水) 第1ホテル東京において、全日遊連の全国理事会が開催されましたので、抜粋して報告します。

①平成27年度全国ファン感の幹事商社の選定
平成27年度も「そごう・西武」に決定しました。ギフト賞品の幹事商社は「JTB」になります。

②のめり込み問題への対応については、県遊協発第157号通達の通りとなりました。来年の3月31日まではこれまで通りチラシの約20%分のめり込み防止の標語を入れて頂くこととなります。

③平成26年度上半期の各県遊協の立入検査数
立入ホール数3009・検査台数22121台
④25年度法人税等調査事績について
不正発見割合の高い業種 パチンコが第3位
・1件当たり不正所得金額 パチンコが第1位
との成績で毎年不本意な結果となっている。

⑤従業者名簿の取扱の変更について
平成26年10月17日以降に作成する従業者名簿から本籍(国籍)を削除することとなりました。※翌11月20日(木)には、全国専務理事・事務局長等会議が開催されましたが、その内容は「のめり込み問題への対応」が主なものでした。

カジノ法案の目処がつくまでは色々な場面で何かと話題になりそうです。

◎推進機構の業界10大ニュース

①遊技人口1000万人の大打割れ

レジャー白書2014が8月に公表され、それによると2013年のパチンコ・パチスロ参加者が970万人で1000万人の大打割を割つたと発表した。10年間で770万人減という。

②消費税率アップで業界対応に追われる

本年4月1日から8%になり、内税・外税・貸し玉調整など対応に追われた。規則の一部改正で賞品の限度額は9600円+消費税。

③のめり込み・ギャンブル依存症が問題化

厚労省の研究班の調査結果を8月に公表、成人の4.8%、536万人が「ギャンブル依存症」の疑いがあるという。男性の8.7%だと言いつ、この数字がマスコミの中で一人歩きをしている。業界にとっては大きな迷惑だ。

④胴式遊技機、保通協試験の適合率、受理件数が激減

保通協は本年9月、46件中適合としたのは3件のみで43件を不合格とした。胴式遊技機の適合率はパチンコに比べ低く問題視されていたが、今後の推移が注目されている。

⑤パチンコ税創設が浮上・換金合法化の引き換えに2000億円

自民党の「時代に適した風営法を求めるとは換金の法制化とパチンコ税導入の意見が出され急浮上、「1%で2000億円」と試算した。今年は見送られたが、再燃する可能性もある。

⑥沖縄で車内放置の乳児が死亡・母親を逮捕

沖縄の主婦が今年の6月、5カ月の乳幼児をホール駐車場の車内に放置し、熱中症で死亡させたとして母親が逮捕された。この主婦は、5月に22日間このホールに通っていたといい、ホールはこれを見逃していたことになる。

⑦澄花ちゃん・日向君心臓移植手術成功
富山県の長尾澄花ちゃん(1歳)・鹿児島県の水添日向君(7歳)は、守る会や救う会・遊技業組合・ホールなど多くの募金活動の結果、米国で心臓移植手術をうけ、2人とも結果は順調とのこと。明るい話題が一番ですね。

⑧日工組・日電協の胴式遊技機の自主規制まとまる

日工組・日電協は懸案となっていたART機能を有する胴式遊技機の「ペナルティのあり方」及びART機能の主基盤移行についてまとめ、ホール団体などに説明を行った。内容は省略。

警察庁は2月、ホール5団体に「置き引きの発生防止等犯罪の未然防止について」の文書を発出した。置き引きの認知件数は減少しているが、「パチンコホールでの発生」は平成14年が全体の7.3%から21.1%に上昇しており、今では最も置き引きの多い発生場所となっているそうです。

県遊協も同じ内容の通達を发出しています。
⑩有楽町でホールなど火災・正月の足大混乱
今年の正月の3日、東京JR有楽町駅近くの建物で火災が発生しました。燃えたのは線路沿いにあるパチンコホールやゲームセンターが入る建物で約12時間燃えて鎮火した。JRの通信ケーブルも焼けUターンラッシュを直撃し、影響は約60万人に及びました。

●依存(のめり込み)問題への対策「今後の取り組み」について

一世紀会今後の取り組みでは、
①顧客対応として「広報活動」、「店内の環境整備」、「相談機関セミナー等」の充実等が挙げられる。
②従業員対応として「従業員教育」が挙げられている。どんな内容なのか、今後示されるだろう。
③「遊技機の性能」として「遊技機の開発」及び「遊技機の性能」の改善が見込まれている。
④「その他」として「財政支援」及び「態勢の強化」があげられており、特に遊技機の性能ととも営業方法を見直そうという姿勢が鮮明に示されているという。※これは21世紀会の平成26年9月18日付け文書「遊技産業の依存(のめり込み)問題対策について」の中身の一部である。

編集後記

雪の季節がやって参りました。冬のタイヤ交換は済みましたか。南から転勤して最初の冬を迎える方に特にアドバイスします。冬はタイヤが命です。摩耗した冬のタイヤは極めて危険、専門の整備士に検査して貰い、履き替えることをお勧めします。何はともあれ安全運転が一番です。熊坂



冬でも車の中に放置されるのは困るんです。特に真冬の寒さはこたえます。私達子供連れのお父さん・お母さんの遊技はノーと言ってください。